

令和5年度 瓦のふるさと公園 指定管理者モニタリング結果

施設名	瓦のふるさと公園
所在地	愛媛県今治市菊間町浜3067番地
指定管理者	<p>名 称 菊間町窯業協同組合</p> <p>代表者 代表理事 越智浩一</p> <p>住 所 愛媛県今治市菊間町浜228番地4</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>今治市 建設部都市政策局 公園緑地課</p> <p>TEL : 0898-36-1563</p> <p>E-mail : kouen@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	施設の設置目的や事業内容に理解を深め適切な管理運営に努めました。	B	施設の設置目的をよく理解して各事業を実施できている。また、施設の管理運営も設置目的に沿った運営が行われている。
利用状況	C	かわら館観覧者、実習館体験者とも前年実績より微減となりました。令和6年度は、一層の植栽管理の充実や館内展示品の入替、体験イベントやキッチンカーのイベントなどを企画、実施して集客の増加に努めたいと思います。	B	前年度と比較すると、かわら館観覧者、実習館利用者、公園入園者は減少したが、研修室利用者、自主事業参加者は増加した。引き続き、利用者の増加につながるようなイベントの開催や魅力ある体験・展示の企画・実施に期待する。
事業収支	B	適正に会計処理が行われたと思います。電気料金をはじめ諸物価の高騰は令和6年度も続くと思われるので、今まで以上に無駄を省くとともに、計画的な施設・備品修繕業務を実施し、一層の植栽管理の充実や新しいイベントの開催等を実施して集客増に努めたいと思います。	B	前年度と比較すると、利用料金収入とその他の収入の合計額は増加したが、電気料金等の高騰に伴い支出額も増加した。利用者の増加による利用料金収入及び自主事業の拡充による収入の増加を期待したい。
管理運営体制	B	効率的な人員配置で、運営出来たと思います。今後とも組織内研修や派遣研修を充実させてかわら館及び公園運営に取り組んでいきたいと思っています。	B	年間を通じ仕様書で定めた職員体制により、適正な管理運営体制が確保できている。館長が公園管理運営士の資格を取得し、有資格者等の適切な配置ができています。さらに、組織内研修や派遣研修が適切に実施され、施設及び公園の管理運営業務の充実が図られた。
管理運営業務	B	仕様書に定めた通り各項目において適切に実施されたと思います。なかでも植栽管理は管理地及びその周辺を含め草刈り・剪定を業務基準以上に行いました。清掃においても管理地外の水路清掃など積極的に実施しました。	B	管理運営業務全般に渡り、仕様書に基づき適切に実施されている。特にバラ・桜・梅等の栽培管理が良くなされており、四季を通して多種の樹木等の美しい公園管理ができています。植栽管理は管理地だけでなくその周辺も基準以上に行われた。また、管理地以外の水路清掃等が積極的に実施された。
利用業務	C	利用調整・受付業務は適切に実施されたと思います。天候にも恵まれ、かわら館フェスタなどのイベントではたくさんの人出でにぎわいましたが、有料の施設利用には結びつきませんでした。体験や展示内容に魅力のある企画を考え実施して利用者の一層の増加を図りたいと思います。	B	利用者への対応は適切に行われている。前年度と比較すると、かわら館観覧者、実習館利用者、公園入園者は減少したが、研修室利用者、自主事業参加者は増加した。引き続き、的確な情報提供による効果的なPR活動を実施するとともに、施設の新しいPR方法を検討して、公園の利用者増加に繋がる取組を行っていただきたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
その他業務	B	お客様のご要望に応じて休館日や時間外にも可能な限りの対応を行っております。また施設内での事故や災害には、常に注意を払い有事の際は、迅速に対応できるように心掛けています。	B	その他業務は、適正に業務が遂行されている。事故防止のための安全管理にも配慮している。今年度、日常点検の項目に園内外灯の目視・触手点検を追加し運用の改善を行った。
修繕業務	B	利用者様の安全、安心を第一に適切な修繕を実施できたと思います。	B	修繕費の執行率は150%(計画額に対する実績額)であった。利用者の方の安全、安心を第一に内容を検討し、適切な修繕を実施したことは評価できる。施設の老朽化が進んでいるため、先を見据えた早目の対応を行うことにより、施設の安全性を確保していただきたい。
備品管理業務	B	必要に応じた無駄のない備品購入を行いました。管理においては備品台帳に沿って適切に管理、整備されていると思います。	B	備品管理については適正に行われている。新規備品の購入についても、優先順位をつけて適切に購入したことは評価できる。
行政財産の目的外使用許可 手続業務	B	施設の設置目的の範囲内において適切な業務が行われたと思います。	B	自動販売機について適正な対応ができている。
自主事業	B	ほぼ計画通りに実施できたと思いますが、有料施設利用者の増加には結びつけられませんでした。次年度は今まで以上に魅力的な事業を展開し有料施設利用者増を図りたいと思います。	B	イベント開催時に天候に恵まれたこともあり、自主事業参加者数は26,238人(計画に対する達成率262%)であった。ロビー展・かわら館バラ愛好会活動・バラ苗販売・フォトコンテスト作品展等計画に沿った実施ができ、自主事業参加者は前年度より増加している。今後は、他の団体とのコラボ等魅力あるイベントを企画することにより、公園の利用者増加に繋がる取組を行っていただきたい。
地域団体との連携	B	職場体験の受け入れや学校や施設等のイベントには粘土細工の出張体験などで積極的に参加をして連携・交流を図っております。また地域活動にも可能な限り参加し交流を深めております。	B	様々な地域団体との連携によって、社会的貢献事業への積極的な取組ができ、円滑な施設の管理運営が図れた。今後は新たな団体との協働も進めて、さらなる情報交換や地域交流を深めていくことを期待したい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用者アンケート	C	イベントなどを利用してのアンケートの回収増を図りました。今後も多くの方にアンケートにお答えいただけるよう方策を考えていきたいと思ひます。そしてお客様のご意見、ご感想をかわら館運営に今まで以上に生かしたいと考えています。	B	アンケート内容は問題なく、利用者からのアンケート結果も、おおむね満足であるとの回答が多数を占めている。アンケート結果の分析は適切にできており、迅速に課題を分析し、可能なところから対応策を講じ改善されている。引き続き、アンケート回答者数を増やすための具体的な方策を検討し、利用者のサービス向上に努めていただきたい。
事故・苦情	B	公園の巡回回数を増やし安全管理に努めました。今後も事故・苦情には迅速に対応ができるように努めます。	B	利用者の安全、安心を第一に内容を検討し、迅速で適切な対応がとれている。引き続き、公園の巡回や利用者からの意見・要望により修繕箇所をいち早く把握し、事故を未然に防止するための維持管理体制の構築に努めていただきたい。
指定管理者の経営状態	/		適正である	

総合コメント（市）

指定管理者は、施設の特徴を踏まえた管理運営に努めており、指定管理業務の履行が適切に実施されていると認められる。特にバラ・桜・梅等の栽培管理が良くなされており、四季を通して多種の樹木等の美しい公園管理ができています。

今年度、道後温泉本館の保存修理工事で取り替えた貴重な屋根瓦の一部の寄贈の申し出を松山市に行った。常設展示品の入れ替えを行い利用者の増加に繋げるため、新たな企画に取り組むことができた。

利用者数を前年度と比較すると、かわら館観覧者、実習館利用者、公園入園者は減少したが、研修室利用者、自主事業参加者は増加し、入園者合計では2,000人程度増加した。

今後は、他の団体とのコラボ等魅力あるイベントを企画したり、施設の新しいPR方法を検討したりして、公園の利用者増加に繋がる取組を行っていただきたい。